



消防だより

119

12月の広報テーマ
「住宅防火対策の推進」

建物に対する

防火防止対策

放 火災の防止の基本は「放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない」ことです。放火火災を防ぐためには、一人ひとりが防火対策を心がけることが重要です。

建物に放火されたケースを見ると、建物外周部、倉庫・物置、車庫、共同住宅等の玄関や階段室等の共用部分など、侵入されやすい場所や入けない暗がりでの放火が目立ちます。施錠管理を徹底し、外部からの侵入を防ぎましょう。照明器具の設置等により暗がりをなくし、放火されない環境づくりに努めましょう。建物の周囲に燃えやすい物を放置せずに、整理整頓しましょう。

空き家なども放火されやすい所なので、敷地の侵入を防ぐための囲いの設置や、電気・ガスの遮断等を行うことが必

要です。
以上、放火されないために、「手間」と「人目」をかけ、放火されにくい環境を作りましょう。



施設見学に訪れた温泉小の児童ら

洞爺湖温泉小学校
23年生が消防施設見学

10月23日(火)、洞爺湖温泉小学校3年生12人が洞爺湖消防署温泉分署へ社会科学習で施設見学に来ました。子供たちは自分たちの町の消防の活動や通信装置・消防車・救急車など消防施設の説明を真剣にメモをと



り、また、実際に機械器具に触れ、消防の仕事について学びました。
9月19日(水)には、洞爺湖温泉小学校2年生11人が図工授業のため温泉分署に来て消防車の写生会を行いました。生徒たちは先生の指導のもと、複雑な形の消防車を画用紙いっぱい描きました。

一人暮らしの高齢者に
火の用心

11月14・15日に洞爺湖消防団第1・2分団の女性団員と

洞爺湖消防署員で本町地区の一人暮らしの高齢者宅を訪問し防火査察を行い、寒さが厳しくなるこの季節ストーブなどが恋しくなることから、火の用心を訴えてきました。

また、女性団員のソフトな対応に、高齢者からは防火に関した相談や、日ごろの自分のことを話し、女性団員は優しく対応しておりました。

高層建物の火災
防ぎよ訓練

11月12・13日の両日の西胆振

消防組合洞爺湖消防署管内の職員約50名が、豊浦支署に集結し、同支署に併設する救助訓練施設を使用して、高層建物からの火災を想定した消火活動と逃げ遅れなどに対する人命救出訓練を行いました。

訓練は、火災建物に最も近い所属の先着隊と、各所属の応援隊との連携した消火活動指揮命令等の確認に重点を置いたもの

であり、寒さの中全職員が本番さながらに真剣な態度で、体中熱気で心地よい汗をかいておりました。



高層建物の火災防ぎよ訓練をする職員ら

統一標語

「火は見る
あなたは離れる
その時を」

fire

10月の

火災件数
350件
救急件数
350件

